土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	有地川　通常砂防事業に伴う業務委託(眼堤補修)
事業名 または 工事名	有地川　通常砂防事業
調査目的及び調査対象	砂防 ダム・溜池

ボーリング名	Bor.K.1	調査位置	広島県福山市芦田町下有地			北緯	34° 30′ 20.8973″
発注機関	広島県東部建設事務所			調査期間	2022年 10月 18日 ～ 2022年 10月 18日	東経	133° 15′ 38.4345″
調査業者名		管理技術者		担当者		コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	T.P. 160.16m	角度	180° 上下 90° 0° 0°	方位	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 0°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90° 10°
総削孔長	2.00m	使用機種	試錐機	東邦試錐工業製DO DL0型			
			エンジン	ヤンマー製TF 90M型	ポンプ	東邦試錐工業製BG 3C型	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名(模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位/測定月日
1	160.0	0.15		表土		暗褐				図解土は体の状態を示す。	
				流紋岩		暗褐灰～暗灰				標準貫入試験でN値50に要する貫入量は0cm、貫入不能の硬さ。 深度0.34m付近までは溶岩状に割れたコア形状であるが、砕けて土状硬質。 深度0.34m以深は電動に発達する亀裂によりコアは分離するも、確認した柱状コアとなる。 清水掘進時は、4L/分の送水したが、全溶水の状態であり送水は不能。	
2	158.16	2.30									10/18

標準貫人試験											試料採取			原位置試験	削孔月日
深度－N値図 0 10 20 30 40 50	N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験		
(貫入不能)		1.50	貫入不能			50/0								
(貫入不能)		2.00	貫入不能			50/0								